



みどり
水土里ネット

21世紀の農の夢を創る

ホームページアドレス
<http://www.midorinet-miyazaki.com/>

目次

- 1. 平成28年度 宮崎県農業農村整備事業推進委員会開催 2
- 2. 平成28年度 宮崎地区土地改良協議会通常総会開催 3
- 3. 平成28年度 標準積算システム初任者及び運用管理者研修会開催 3
- 4. 宗汰が行く！水土里ネットインタビュー（水土里ネット大淀川右岸） 4
- 5. 水土里ネット宮崎の紹介（総務部 総務企画課 経理係） 6
- 6. 水土里ネット宮崎の紹介（総務部 会員支援課 情報管理係） 6
- 7. 8月の行事予定 6

2016
7



美郷町西郷区で毎年7月の第1土・日曜日に開催される「御田祭(馬入れ)」の様子

※「御田祭」は、平安時代から続く伝統的な祭りで、豊作と参詣者の無病息災を祈願して毎年開催され、宮崎県民俗文化財に指定されている。

平成28年度 宮崎県農業農村整備事業推進委員会開催

宮崎県農業農村整備事業推進委員会（前田穰委員長：綾町長）は、去る6月6日、土地改良会館4階研修室において会員及び関係者約160名出席のもと、平成28年度宮崎県農業農村整備事業推進委員会を開催した。

この委員会は、宮崎県における農業農村整備事業の積極的な推進を図り、もって地域農業の振興開発と事業の良好なる管理に資することを目的として組織されており、宮崎県あるいは九州各県土連と連携しながら、国に対する政策提案や要請活動などを実施している。

はじめに、前田委員長が「推進委員会の果たすべき役割を十分に認識しながら、宮崎県の特性を最大限引き出すことのできる政策を、国をはじめとする関係機関へ積極的に提案していくとともに、大幅に削減された農業農村整備事業予算の十分な確保に向け、積極的な要請活動に尽力して参ります。」と挨拶された。次に、竹下裕一郎課長（県農政水産部農村計画課）が来賓挨拶をされた。

引き続き、来賓紹介が行われた後、前田委員長を議長に選任し議事が執り行われた。議事では、「平成27年度事業報告について」「平成28年度事業計画について」「委員の補欠選任について」の3議案が審議され、全て原案通り承認された。これにより、首藤正治市長（延岡市）、三好亨二常務理事（水土里ネット宮崎）が新たに副委員長に選任された。

議事終了後研修会に移り、浜田真郎課長補佐（県農政水産部農村計画課）より平成28年度農業農村整備予算の概要について説明が行われた。

浜田課長補佐は、「農業農村整備事業予算確保の為には、利害関係者との双方向のコミュニケーションを通じて関係を構築し事業を理解してもらうこと、水土里の大切さの理解向上や事業概要の説明だけでなく、予算の必要性とその逼迫状況を発信していくこと、コストパフォーマンスを意識した広報活動を行うことが必要である」と説明をされた。

次に、盛永美喜男課長補佐（県農政水産部農村整備課）より平成28年度農村整備課所管の農業農村整備事業について説明が行われた。

盛永課長補佐は、「農村整備課の指針に基づく平成28年度事業の概要について、また4月14日、16日に発生した熊本地震の発生・被害報告、そして災害発生時に水利施設からの事故を防止するガイドライン」について説明をされた。



開会挨拶をされる前田委員長



来賓挨拶をされる竹下課長



説明をされる浜田課長補佐



説明をされる盛永課長補佐

宮崎県農業農村整備事業推進委員会委員名簿		
委員長	前田 穰	綾町長
筆頭副委員長	西川 和孝	水土里ネット宮崎副会長
副委員長	崎田 恭平	日南市長
〃	池田 宜永	都城市長
〃	島田 孝一	都城盆地土地改良区理事長
〃	肥後 正弘	小林市長
〃	日高 昭彦	川南町長
〃	首藤 正治	延岡市長
〃	原田 俊平	五ヶ瀬町長
〃	三好 亨二	水土里ネット宮崎常務理事

平成28年度 宮崎地区土地改良協議会通常総会開催

宮崎地区土地改良協議会（前田穰会長：綾町長）は、去る6月6日、宮崎県土地改良会館4階研修室にて、会員及び関係者98名出席のもと、平成28年度宮崎地区土地改良協議会通常総会を開催した。

はじめに前田会長が挨拶をされ、続いて土地改良功労者表彰として、土地改良事業の推進に功績のあった9名の方に表彰状と記念品が贈られた。

引き続き、工藤明也局長（中部農林振興局）、三好亨二常務理事（水土里ネット宮崎）が来賓挨拶をされた。その後、山内春義課長（宮崎市高岡総合支所農林水産課）を議長に選任し議事に移り、平成27年度事業報告を含め4議案が審議され全て承認され、総会は盛会裡に終了した。

〈受賞者〉

● 水土里ネット池内南方	前理事長	久保田 章 生
● 水土里ネット宮崎市北	理 事 長	坂 本 中 保
● 水土里ネット大淀川右岸	理 事	平 原 和 彦
● 水土里ネット黒田	前理事長	佐 藤 正 嗣
● 水土里ネット佐土原町	監 事	三 浦 浩 幸
● 水土里ネット東禅寺・鈴町	副理事長	日 高 俊 明
● 水土里ネット高岡町	理 事 長	黒 木 辰 男
● 水土里ネット高岡町	副理事長	山 口 紀 壽
● 水土里ネット高岡町	前 理 事	東 郷 辰 孝



開会挨拶をされる前田会長



受賞者の皆様

平成28年度 標準積算システム初任者及び運用管理者研修会開催

本会は去る6月23日、24日の2日間にわたり、土地改良会館4階研修室において、標準積算システムを導入している市町村から56名出席のもと、積算担当者（初任者）と運用管理担当者への研修会を開催した。

研修会は、蓑毛英二総務部長（水土里ネット宮崎）の開会挨拶で始まり、久保田文也主幹、久多良木豊也技師（県農政水産部農村計画課技術管理担当）から標準積算システムVer.3の概要、標準積算システム利用にあたっての注意点等の説明があった。

運用管理担当者向けの研修では、システムの概要、データ管理、利用者管理、障害対応、積算書管理、設計積算に関する問い合わせ内容について説明が行われた。

積算担当者（初任者）向けの研修では、積算書作成基本操作説明が行われ、標準積算システム用パソコンによる積算書作成実習（積算書作成の一連の流れ）を行った。



研修会の様子

宗汰が行く！水土里ネットインタビュー(第1回:水土里ネット大淀川右岸)

こんにちは！総務企画課の高村宗汰です。
今月号より、県内水土里ネットの抱える問題や解決方法など、今後の業務の参考になるように、水土里ネットの特徴や課題を取材した記事を連載することとなりました。記念すべき第1回は「水土里ネット大淀川右岸」を紹介します。



◆水土里ネット大淀川右岸の概要

水土里ネット大淀川右岸は、旧宮崎市南西部、旧田野町、旧清武町の清武川水系沿いの低・平部水田地帯(727ha)とその周辺部の丘陵地の畑(1,211ha)からなる農業地帯を受益地とする水土里ネットであり、昭和56年度から平成16年度にかけて国営かんがい施設として建設された「天神ダム」をはじめ8本の幹線水路を管理し、農業用水の安定的な確保と供給を図っている。

現在、天神ダムは平成17年9月の台風により、年間計画堆砂量を上回る堆砂が確認されており貯水機能の低下が生じている。また、耐用年数を超え機能の低下している施設も多数あり、それらの機能保全の為に国営施設機能保全事業(H26～H35年度)に取り組み、水利用機能の回復を図ることとしている。



理事長 丸目 賢一
(水土里ネット宮崎会長)



職員の皆様

水土里ネット 大淀川右岸

- 設立年月日：平成15年2月28日
- 所在地：宮崎市田野町甲9003番地55
- 電話番号：0985-86-1977
- 受益面積：1,938ha (田：727ha、畑：1,211ha)
- 組合員数：2,345名

◆多面的機能を備えた「天神ダム」

Q. 「天神ダム」について教えてください。

A：天神ダムは、農業用水の確保と供給の重要な起点であるだけでなく、国営造成施設管理体制整備促進事業などにより、小中高生の学習の場での活用や自治会や消防局と協定を締結して、防火用水等に利用されるなど、その活用の幅は多岐にわたっております。

また、ダム湖周辺の良い景観の保全と多面的な機能を啓発するため、周辺に植栽されている千本桜の管理作業を毎年多数のボランティアにより行っており、美しく彩られています。



天神ダム全景



千本桜の管理作業



◆未納賦課金の着実な回収と3年連続賦課金納入率100%達成に向けて

Q. 賦課金の回収方法について教えてください。

A: 以前は多くの未納者による多額の賦課金未納に頭を悩ませており、回収の為に様々な対策を行ってきましたが、思うように成果は上がらない状況でした。この現状を打開するため、次の対策を行いました。

①意識改革

理事と監事、職員に対して、宮崎市の納税管理課（滞納整理専門員）による研修を行い意識改革を図りました。

- ・税金と賦課金について
- ・滞納整理について
- ・理事の職務と責任について

②担当地区の分担

職員の負担軽減と競争意識を図るため、職員3人に担当地区を振り分けました。

③未納者の分類

未納者を未納期間毎で3グループに分けて、難しくない案件かつ短い期間の未納者からの的を絞って徴収を行いました。

④未納者への意思伝達

未納者に対して「いくらでも…なるべく…」などのあいまいな言葉は使わず「いくら。いつ。納入しなければ滞納整理します。」と、こちらの意思をはっきり伝えるよう、職員の意識改革を図りました。

⑤振込手続きの簡素化

取扱いの金融機関を農協以外の銀行を増やし、納付書の様式もそれに合わせ、振り込みやすい環境をつくりました。（コンビニでの取扱いも検討中）

⑥納付誓約書（納入計画書）の策定

未納額が多く1回で納入が厳しい組合員については、支払いが可能となるような支払計画「納付誓約書（納入計画書）」を組合員と話し合い策定し、理事長と誓約をしてもらいます。約束が守れない時は滞納整理の対象者として理事会に諮り、財産差し押さえまでの手続きを行っています。

⑦支払い前の連絡

納付誓約書に定めた支払期日の1週間前から相手方に連絡をとり、支払の確認をしています。

⑧毎日の打合せ

毎朝、納入と支払予定日の確認、課題等について必ず打合せを行っています。

⑨役職員の連携

納入状況と課題を理事会に毎回報告して、賦課金徴収について役職員の一体感を保つようにしています。

こうした取り組みが、未納者の「賦課金は延滞してもいい」という意識を「支払わないといけない」に変え、納入率は確実に向上しています。

結果、平成26、27年度の納入率は100%を達成しました。未納賦課金の回収も着実に進んでおり、平成29年度にはほとんどの未納賦課金の回収が完了する見込みです。この成果を達成できたのは、「未納賦課金回収」という山を、登る前から出来ない諦めず、目標をしっかりと見定め、それを達成できるあらゆる手段を考えて確実に実行し、成果の確認と課題の抽出を毎朝行うことと職員の根気強い取り組みが実を結んだものであります。次年度に未納賦課金を残さないことが重要であり、平成28年度の賦課金についても、納入率100%となるよう取り組んでいます。

◆水土里ネット吸収合併の実現へ向けて

Q. 今後の展望をお聞かせください。

A: 現在は関連水土里ネットとの吸収合併が進められております。吸収合併のメリットとして、組合員の負担軽減があります。現在、高齢化や担い手不足、農作物の収益アップの見込みが厳しい中、組合員には関連水土里ネットと本水土里ネットの2つの水土里ネットに賦課金を納めている地区もあり、それが組合員の大きな負担となり、それぞれの賦課金の未納の一因にもなっています。また、今後は「多面的機能支払交付金制度」を活用し、組合員のために負担軽減と活動の幅を広げるためにも早期に吸収合併を実現したいと考えています。

水土里ネット宮崎の紹介 (総務部 総務企画課 経理係)

<経理係の主な業務>

- ・ 会計に関すること
- ・ 給与、確定拠出年金に関すること
- ・ 税務に関すること
- ・ 出納に関すること など

<経理係こんなところ>

経理係は初めて単独の係長が配属され、また久しぶりに新人を迎え28年度がスタートしました。係はもちろん、会全体にさわやかな風を運んでくれました。そのような中、会の中では目立たない存在ではありますが総務係と協力し合い、業務を進めて参ります。



水土里ネット宮崎の紹介 (総務部 会員支援課 情報管理係)

<情報管理係の主な業務>

- ・ 標準積算システムの運用管理・教育
- ・ 電算業務の開発・運用
- ・ 設備機器の保守・管理
- ・ 品質管理及びISOに関すること など

<情報管理係こんなところ>

情報管理係での「情報」は主に技術に関する運営管理上必要な諸種の情報の収集・処理・伝達・保管・廃棄等を行い、業務の適正な実施への支え役を担っており、技術系の研修会・講習会開催等も行っ

ています。

「管理」は会内のシステム、PC等機器、データ、ソフトウェア、セキュリティ、ネットワークの管理を行っており、他にISOの運用管理、農道台帳管理等も行っています。

また、宮崎県農村振興技術連盟や宮崎県農村災害支援協議会の事務局も併設されています。

受け持つ業務は、総務部、事業部を問わず会全体を支える役割の業務が多く、他部署及び係内で連携しながら業務に当たっております。



8月の行事予定

- 1日 西臼杵地区土地改良協議会通常総会
- 3日 都城地区土地改良協議会第1回水土里ネット役職員研修会
平成28年度第1回監事会及び第1回監査
- 29日 平成28年度第1回理事会